Tokyo Union Theological Seminary

説　教：

聖霊：私たちの生命の水，光と調和の源と力

張　　景　龍

テキスト：創世記１：１－２；エゼキエル11：19；使徒２：17

祈り：恵み深い聖なる父よ，私たちはあなたに服従し，忠実にお委ねしていく中で，御霊が共にいてくださり，中国であなたの教会が再建される過程で，私たちがあなたの被造物であるという意識を喚起し，あなたの生命と調和の中に導いてくださるように祈ります。あなたに栄光がありますように。アーメン

私たちはデヴォーション，祈り，悔い改めといった日々の信仰生活において，聖霊の導きと助けによってほとんど誤ることはありません。これは聖霊が力強く効果的であり，両刃の剣よりも鋭く，疾風よりも速いからです。

聖霊は私たちの思想の最も深い部分に入り，同化します。彼は私たちの暗愚な心を啓発し，暗やみの顔色をなからしめ，私たちをキリストの生における聖化と更新の光へと私たちを連れて行くことが出来ます。

私たちは聖霊の様々な表現を聖書の中に見いだすのです。創世記の第１章では聖霊は神の“言葉”あるいは“ロゴス”として描かれています。ヘブルの伝統では聖霊は時々“風”あるいは“息”とも書かれています。

創世記の冒頭には，神が天地をお造りになったとき聖霊が水の表面を覆っていたと記されております。言い換えると，神は聖霊の活発な活動を伴って天と地をお造りになったのです。創世記の証言は聖霊が必然的に神の創造と関連し

NII-Electronic Library Service

Tokyo Union Theological Seminary

ていることを示しています。さらに，聖書全体がどこにでも聖霊の活動あるいは運動があり，神の創造あるいは再創造と結びついており，そうして神の霊を通して神の憐れみ深い愛の生きた表現を私たちに明示しているのです。

宇宙が始まったとき，神は彼の霊を通して光をお造りになったのでもはや天と地は全体として闇の中に封じられることはありません。ですから，聖霊の運動は世の闇を打ち破る光の創造者なのです。逆に，光それ自身が聖霊の活動と神の目的を指し示し，生き生きと象徴しているのです。

神は彼の霊を通して光をお造りになりました。こうして生命なきところからの生命の創造の基礎を置いたのです。聖霊は神が通常の生命体だけでなく，人間性 —— 地上の生命で最も高い形 —— をも造ることを可能にしたのです。創世記はこう告げています。「主なる神は土のちりで人を造り，命の息をその鼻に吹きいれられた。そこで人は生きた者となった」（２：７）。ここで「息を吹きいれられた」というのは，人類に，また人々の関係に加えて神と人との関係に生命をもたらす聖霊の働きに関わっています。神が生命と関係をお造りになったことは再び彼の愛に満ちた恵みのすばらしい証拠であります。

創造において，聖霊の運動は混沌を独自な調和ある宇宙に変える強大な力を明らかにしました。この聖霊の力のもとにある宇宙は，神の三位一体の調和へのより高次なかたちへと向かっており，地上の人を通して神が望まれた調和を実現するところに位置しています。

神の美しい調和の現実は，地上においてイエスというお方のうちに中心的にまた具体的に現われています。ナザレ人イエスは御父の御心に信仰によって委ねることを通して御父と共に独特な調和を形作ったのです。御父と御子との間の美しい調和は明らかに御霊によってもたらされたものです。マルコ福音書はこう言っています。「そのころイエスはガリラヤのナザレから出てきて，ヨルダン川で，ヨハネからバプテスマをお受けになった。そして，水の中から上がられるとすぐ，天が裂けて，聖霊がはとのように自分に下って来られるのを，ごらんになった。すると天から声があった，『あなたはわたしの愛する子，わたしの心にかなう者である』」（１：９－11）。福音書はイエスがバプテスマを

NII-Electronic Library Service

Tokyo Union Theological Seminary

お受けになった瞬間から御霊がイエスの聖なる職務と地上での全せいかつを引受けられたと私たちに告げています。彼は御霊の力によって荒れ野に導かれ，御霊の力によってナザレで会堂に入って行かれ，「主の御霊がわたしに宿っている」（ルカ 4 ：18）と記されております。

それゆえ，バプテスマ，試みに対する勝利，御国の説教，癒しと奇跡，十字架における私たちの罪のゆるしのための自己犠牲，すべてはイエスの御父との内なる霊的調和をあらわにするものであることは明白です。この霊的調和は父なる神の御霊に忠実に自己を委ねることによって生じるイエスの自由のうちにあります。この自由によって，イエスのすべての言葉と行ないとは一つであり，御父の御心が天において行なわれるように地においても効果的に行なわしむる聖霊の運動と一体となるのです。

御霊に満たされ導かれてイエスは御父との美しい調和に入りました。この独特な調和は人の贖いと救いに向けられる神の無条件の愛から出る恵み溢れる賜物です。人間が今このところで，また神の国でこの美しい調和をイエスと分かち合うことが出来うるのは，人間のイエスへの参与を通してのことなのです。

イエス・キリストは世の激しい不調和を彼自身の愛と恵みに満ちた調和に変えて，神と人間との間の，また人間同士の間の破れた関係を修復して人間を救うために，聖霊の力によって世に入って来られました。

イエスの御霊は約束と希望の御霊でもあります。ルカ福音書の終わりの方と使徒行伝の始めで，私たちの主イエスは弟子たちに約束が成就し，聖霊が授けられるまでエルサレムを離れないようにと言っています。イエスはルカ福音書では，「見よ，わたしの父が約束されたものを，あなたがたに贈る。だから，上からの力を授けられるまでは，あなたがたは都にとどまっていなさい」（24 ：49）。使徒行伝においてもこのことに触れられて，「そして彼らと共にいるときに彼らにお命じになった。『かねてわたしから聞いていた』父の約束を待って，エルサレムから離れるな」（1 ：4）。イエスの弟子たちへの約束は霊的・歴史的に比類のない意義を持っていました。なぜなら，イエスは復活後は御父の救いの約束は“パラクレーテ”，すなわち聖霊によって継続されることを良く理

NII-Electronic Library Service

Tokyo Union Theological Seminary

解していたからです。この約束は人類への神の愛と摂理とを体現しています。自由であり世界と歴史とに遍在する聖霊が内住することは，光を発生する力，生活を刷新する力，調和を創造する有力な源であります。聖霊の内住はすべての人に開かれており，闇に対して光，死に対して生，憎しみに対して愛，不義に対して義，混沌と不調和に対して平和と調和を求める人間の戦いと共に歩み力を与えるのです。御霊は，聖なる父と聖なる御子と共にある，またキリストによって神と「子」の関係に入れられたというインマヌエルの幸いな体験を私たちのうちに起こす創造者の霊であります。こうして私たちは私たちの真の土着の教会への渇きを通して，キリストに似た性質が徐々に実現する教会共同体へと形成されて行くのです。「神がこう仰せになる。終わりの時には，わたしの霊をすべての人に注ごう」（使徒２：17）その時，御霊はまた私たちのうちに神の未来への限りない希望をも吹き込まれるのです。

キリストがペンテコステの時に御霊を送られたことは神の愛と恵みが測りしれないものであることを明らかにしています。人間はキリストの時に裏切ったにもかかわらず再び，キリストは私たちに御霊を無条件に授与され世界が生において啓発され刷新されるために御霊を卑しい身分で人間の歴史の中に来たらせてくださるのです。同時に御霊の賜物は地上でキリストに従い，御霊の力において神の同労者であろうとする人々に授けられるのです。彼らは変換の業に参与するのである：すなわち御父の愛を彼ら一人ひとりの隣人に対する具体的な愛に，神の義を人間の正義に，神の憐れみとゆるしを人間の憐れみとゆるしに，そして神の三位一体の調和を人間の間の調和へと変換するのです。神の国は御霊とともに世界をより良いものに変革する働きに参与する者と，神と人及び人と人の関係を調和させる働きに参与する者の手にあります。

同様の理由で，キリストの御霊の賜物は人間の救いという神の究極の目的を明示しています。私たちの知るように神の御霊は絶対的に自由で，その活動は風の動きに似ています，「風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞くが，それがどこからきて，どこへ行くかは知らない」（ヨハネ３：８）。しかし，神は彼の御心に従って世を彼の自由と愛と栄光の中に運ぶために，キリストと御

NII-Electronic Library Service

Tokyo Union Theological Seminary

霊を送るに当たって，意図的に御自分を卑下し有限な者とされました。神の保証人としてのパラクレートスの目的はすべての人々が聖なる都で“ハレルヤ”を歌うその日に向かって，神の創造された光と命と調和を徐々に満たし，完全なものとすることであり，「夜は，もはやない。あかりも太陽の光も，いらない。主なる神が彼らを照らし，そして，彼らは世々限りなく支配する」(黙22：5)。神による救いは新しくされた人間の生活が子羊の生命に継がれた時頂点に達するのです。「命の水」と「命の木」の賜物を通して私たちは輝く栄光と，アルファでありオメガである神からの美しい調和を子羊と共に喜びに溢れて分かち合うことが出来るのです。

人間性を伴う神の未来はイエスの中で働き，今日ここで私たちの間で働いている御霊に密接な関連があります。イエス・キリストの到来と彼の地上あらゆるところの旅とは，私たちに新しい葡萄酒は古い皮袋に入れられるべきではないことを表しています。それはキリストが聖霊を通して私たちにもたらした光と命と調和は律法や古くさい伝統によって裁かれるべきものではないという差し迫った戒めなのです。霊的な人間や教会は新しい葡萄酒を新しい皮袋に入れることに注意しなければなりません。新しい光，新しい命，新しい調和を導くにおいては御霊のダイナミックな活動が伴わなければならないのです。私たちの主イエスはパリサイ人を，霊的であるように装っていると激しく非難しました。なぜなら彼らは言葉や宗教儀式で霊的なようにみせかけていることは「律法の中でもっと重要な，公平とあわれみと忠実とを見のがしている」(マタイ23：23) 事実を覆い隠しきれるものではないからです。ここでのイエスの批判はパリサイ人のみを指しているのではありません。それは御霊を通してイエスにおける神の深い啓示を明らかにし，私たちに深遠な実存に関わる疑問を呼び起こさせるのです。真に私たちにとって“霊的である”とはどういうことなのか？私たちが御霊に導かれキリストの霊に生きることの出来る真の基準とは何であるか？

キリスト者として私たちは，キリストにおいて啓示された光と生命と調和に従わなければなりません。また，私たちの心と魂を照らし，神の世界と歴史に

NII-Electronic Library Service

Tokyo Union Theological Seminary

対して覚醒する感覚と同じように闇と混沌とを追い散らす御霊の賜物を，真実に神に祈り求めなければなりません。私たちにとって，世界にいる他のキリスト者や他の人々の間で自由に働かれている御霊に心を開き，聖霊の働きによって生まれたいかなる実をも歓迎することが最も重要なのであります。御霊は私たちが互いの経験を正しく評価し，これを分かち合うことによって照明されるような霊的なコミュニケーションをもたらすのです。

本物霊的なクリスチャンは，イエスがそうであられたように，考えと行い，言葉と行い，また神への愛と隣人への愛の間の内的調和を保ちます。彼は御霊の生ける乗り物とされ，また御霊によって光と生命とキリストに似た者の諸々の価値を世にもたらすことになっているのです。霊に属する人は皆，キリストと共にキリストの消すことの出来ない精神力（vigor）と生命力（vitality）を，神と地上の人々に奉仕することにおいて分かち合うのです。この奉仕における生命の力の現われは，それ自体，キリストにあって新たにされ，御霊によって力付けられた生命の証であります。

イエスにおいて啓示された御霊の導きのもとでは，私たちの生活はイエス・キリストと彼の御父のとの調和のうちにあります。神の三位一体の調和に浴したこの調和においては，「私のいましめを心にいだいてこれを守る者は，わたしを愛する者である。わたしを愛する者は，わたしの父に愛されるであろう。わたしもその人を愛し，その人にわたし自身をあらわすであろう」（ヨハネ14：21）ゆえに，神は真に私たちに啓示されるのです。

御霊の力においてキリストによって建てられたキリスト教会は，神の創造の実でもあります。それゆえ，教会はその最初期においては，キリストにある光と生命と調和に与るだけでなく，御霊の力において地に光と生命と調和をもたらすよう神の任命を受けたのです。しかし，解放以前の暗やみの時代には，中国の教会は御霊にあってその生命を一新することが出来ませんでした。なぜならそのキリストに似たものとしての尊厳と中国の自我が失われていたからです。このアイデンティティーの危機は中国の教会に，その肉の心を徐々に石の心に変える慢性貧血を引き起こしました。教会は生けるキリストと共に苦しみ，

NII-Electronic Library Service

Tokyo Union Theological Seminary

光と生命と調和を求めて戦っている中国人民から遊離していったのです。教会の宗教意識は『ラテン捕囚』の掌中にあり，教会自身は人民の苦闘に無感覚で冷淡であったのです。光と生命と調和の力は御霊による解放の働きの中に息づいております。しかし，中国の教会は不運なことに無生命と混沌と暗やみの中に投げ込まれたのです。神への服従は建前となり，ただ口先で神と人とに捧げるだけだったのです。そのようにして，教会と神との間の本来あるべき調和が損なわれました。このキリストの霊的調和の崩壊と共に，教会は死から生命，非存在から存在，暗やみから光，そして混沌から調和を区別することが出来なくなったのです。

中国キリスト教三自運動は中国のキリスト者を通して御霊が自由に空前の精神力と生命力を教会に吹き込んだ生活刷新運動でありました。これによって中国の教会は生命を与える自己同一性を得，自ら社会主義新中国の中にかかわっていったのです。要するに，三自運動は霊的な運動であります。なぜなら，この運動自体は，中国の地で新しい教会を通してキリストにある新たな光と新たな生命と新たな調和を模索する運動自体を明らかにし，実現する聖霊のダイナミックな乗り物以外の何物でもないからであります。三自運動は御霊の内に，御霊によって，自己実現した中国のキリスト教の段階的統合，すなわち西洋の高度に発展した宗教を中国の文化と精神に融合させることを効率的に促進したのです。このキリストに似た内的調和は，人と人との関係の内にも表現を見いだすのです。三自運動はまだ未熟ではありますが，神のもとにあって形成途上にあるのです。この運動はそれを通して私たちが御霊の運動に出会うような運動であり，またそれを通して肉の心がキリストの内に霊的にまた健全に育つような運動であります。

ですから，霊的な生活を追及している中国のキリスト者は三自運動の協同者であることの意味を御霊の導きに従順に生きるということの関連で熟考しなければなりません。三自運動をスローガンとか『建前』あるいは『一時的流行』と考えるなら，それは誤りです。三自運動に新しい光と新しい生命と新しい調和をもたらして私たちを強め続けるのは創始者なる御霊です。今日中国のキリ

NII-Electronic Library Service

Tokyo Union Theological Seminary

スト教三自運動は当面の国家規模の改革という新たな課題に直面しています。新しい葡萄酒が古い皮袋に入れられないように，三自運動はキリストの御霊の力において一新された霊と勇気をもって漸進しなければなりません。すべての中国の忠実な神の子は，三自運動の過程でキリストから我々に与えられた新しい葡萄酒に「酔い」ながら，御霊の導きに心を開き続けなければなりません。アーメン

この説教は張氏がトロント大学神学部でM. Div. を得て帰国した直後の1986年秋に南京金陵協和神学院で説教したものである。
英文のテキストは張景龍氏から提供されたものである。

（Chinese Theological Review. 1986. 石田聖実訳）

NII-Electronic Library Service